

C-9 「SDGsと食品ロス」～今すぐできる食品ロス削減～

講義担当:松島麻美(サステナビリティ教育研究会)

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小3,4年社会「廃棄物の処理」6年理科「自然環境を大切にする」 5,6年家庭科「環境に配慮した家庭生活の工夫」5,6年道徳「自然環境を大切に」 小3-6年,中学生総合「ESD」6年「平和スピーチコンテストの導入」など		
関連のあるSDGsのゴール	全て	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	9時～15時		
年間実施上限数	6回		
講座実施方法 ※()は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(パソコン、プロジェクターが利用できる教室、理科室等の特別教室)		
講座所要時間	40分×2コマ、または、45分×2コマ		
実施条件、必要な準備等	<input type="checkbox"/> スライドをうつすプロジェクターまたはテレビ <input type="checkbox"/> バケツ		

講座内容

1 講座の目的・ねらい

横浜市内の学校で学校司書として勤務しているバックグラウンドを活かし、子どもに寄り添った言葉でSDGsを説明。SDGsの内容理解だけでなく、講師が実践している行動を紹介し、子どもの行動変容、継続的な習慣化を狙う。

2 内容

①アイスブレイキング

十数kgもの水を何時間もかけて、毎日運ぶ子どもが世界にはいるということを体感するため、重いバケツを持つ体験をする。

②SDGs概要説明

「つかう責任」に意識を向ける。

③食品ロスとSDGsの関係

食品ロス削減はSDGsの何番に繋がるのかを発表。やりとりの中で、SDGs全てに繋がることを子どもに意識させる。(ただし、小学校中学年はいくつか繋がることを理解できればOKとする)

④カードゲーム

食品ロス削減のために実践できそうなカードを選び、どうしたら継続的に行動できるかを発表。

⑤まとめ、感想発表、アンケート記入

※当該クラスの実態に合わせて内容をカスタマイズできますので、打合せの際に希望をお聞かせください。



問合せ先:サステナビリティ教育研究会

メールアドレス:awesami@hotmail.co.jp